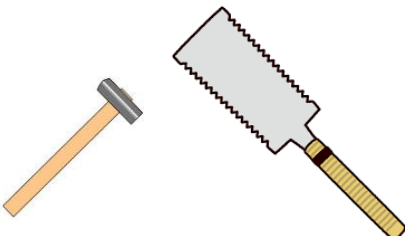


第1学年 技術・家庭科（技術分野） 学習案内

1. 目標

- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギーの変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深める。
- 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 指導計画

月	「材料と加工の技術」	
4	○オリエンテーション ○技術分野のガイダンス	
5	○材料と加工の技術を見つけよう ———— 実習 丸太を切ろう ————	教材：丸太 体操服
6	○材料の特性と加工法を知ろう ○材料と加工の技術の工夫を調べ考えよう	<授業で使用するもの> - 教科書（教育図書） - スキルアシスト（教育図書） - ワーク（地域教材社） - プリント - 丸太 - 実習教材 - 大工道具 など
7	○製図 - 線の種類と名称 - 寸法補助記号	
9	- 等角図 - 第三角法による正投影図	
10	○実習の安全な進め方を知ろう ———— 実習 木材加工 ————	
11		
12	○材料取り ○部品加工	教材：パインセレクト12 
1	○組立	
2	○仕上げ	
3	○実習の振り返り ○1年間のまとめ	

3. 評価

観点	主な具体的な内容
知識・技能 （何を理解しているか、 何ができるか）	- 学習した内容を十分に理解し、知識として身につけている。 - 製図を正確にかくことができる。 - 実習では、必要な道具や工具を安全かつ適切に使用することができる。 - 実習では、集中して作業し、構想通りに完成させることができる。 - 実習を通して、生活に必要な技能を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力 （理解していること、 できることをどう使うか）	- 生活や社会との関わりを意識し、生活にいかすことができる。 - 実習では、創意工夫を凝らし、より良い作品をつくることができる。
主体的に学習に取り組む態度 （粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する）	- 始業時刻を守り、授業に参加（出席）する。 - 授業に必要なものを準備する（忘れ物をしない）。 - 授業に適した服装で授業に臨み、学習に意欲的に取り組む。 - 提出物は、内容等を整え、期日を守って提出する。